

会議速報

開催概要

- 名称：平成26年度 第1回新潟市食の安全意見交換会
- 日時：平成26年9月8日（月）午後1時30分から午後3時45分
- 場所：新潟市保健所 講堂（新潟市総合保健医療センター2階）
- 出席委員：内田委員，浦上委員，加藤委員，菊池委員，鯨岡委員，瀬下委員，梨本委員，箱岩委員，浜田委員，村松委員
- 市役所関係課(出席者名)
 - 消費生活センター（小柳所長），保育課（関崎主幹），健康増進課（笹谷主査），食肉衛生検査所（佐藤所長），衛生環境研究所（田邊次長・町永室長），農業政策課（田辺技師），食育花育センター（黒崎主幹），保健給食課（星野係長）
- 事務局
 - 阿部保健衛生部部長
 - 食の安全推進課（羽賀課長，本間課長補佐，廣川係長，飛田係長，登坂係長，齋藤副主査，佐藤，風間）
- 傍聴者 0名
- 報道関係者 1名

会議内容

議事（1）平成25年度食品衛生監視指導結果について（報告）

資料1-1から資料1-3

平成25年度食品衛生監視指導結果について（報告）の説明を食の安全推進課から行いました。

< 主な意見・質問 >

- 冷やしきゅうりを原因とする食中毒事件があったが，このようなものについてどう対応しているか
- イベント等の出店業者に対してどのように衛生指導を行っているか
- 新潟県食品の指導基準にもとづいて「要注意」とされた営業者には，改善を指導し確認するとのことだが，どのように確認しているのか
- 検査結果で未加熱そうざいの「要注意」率が高いが，具体的にどのようなそうざいか

議事（2）食の安全基本方針に基づく平成25年度事業について（報告）

資料2-1から資料2-1

取組み指標別の平成25年度の実績と評価について，担当各課から説明しました。

< 主な意見・質問 >

- 農業生産工程管理（GAP）手法取組み団体が0団体であったが、ハードルが高いことが原因なのか
また、認証までいかなくとも、手法自体は広まっているのか
- 食肉の安全確保に関するアンケートで、不安が「大いになくなった」「少しなくなった」とあるが、どのようにアンケートをとっているのか
- 添加物を怖がりすぎているきらいがあるが、子ども消費者学習はどのような内容で行っているのか
- 一昨年の浅漬け事件の際、なにか制菌作用のある添加物を加えていけば亡くならずにするのではないかと思う。無添加がよいというわけではない。

議事（3）「新潟市食の安全基本方針」第二次改定について

資料3-1から資料3-5

食の安全基本方針第一次改定で示された取組が今年度で終了となるため、第二次改定の方針及び素案について食の安全推進課から説明しました。また、関連する施策について担当各課から説明しました。

< 主な意見・質問 >

- 成果指標について、放射線など大きな事件があった時など、市民の評価基準が変わり、取組みを同じに行ったとしても数値が大きく変動するのではないか
- 成果指標のアンケートをとる際、例示する取組みとはなにか

次回開催

日時：平成26年11月6日 午後1時30分

場所：新潟市保健所 講堂（新潟市総合保健医療センター2階）

議事の詳細については、後日あらためて掲載いたします。